

令和2年中 火災・救急・救助概況

令和2年中（令和2年1月1日～令和2年12月31日）の河内長野市内で発生した火災・救急・救助概況がまとまりましたのでお知らせします。

■火災・・・発生件数が増加したものの、損害額が大幅に減少。

発生件数は17件（前年より2件増）と昨年に引き続き少ない件数となり、損害額は4,690千円（前年より58,449千円減）となり、火災件数は増加したものの、全焼建物火災が1件（前年4件）に減ったことにより損害額が大幅に減少しました。死者は1名でした。

種類別・原因別の火災発生状況は下表のとおりです。

火災発生状況

種類別		件数（前年）		原因別	件数（前年）	
建物火災	全焼	1	(4)	こんろ	3	(2)
	半焼	0	(1)	たき火	3	(1)
	部分焼	3	(2)	たばこ	2	(1)
	ぼや	4	(5)	排気管	2	(0)
	爆発	0	(0)	電気機器	2	(0)
林野火災		1	(0)	配線器具	0	(1)
				焼却炉	0	(1)
車両火災		4	(0)	放火	0	(1)
				放火の疑い	0	(2)
その他の火災		4	(3)	火あそび	0	(0)
				煙突・煙道	0	(0)
				その他・不明・調査中	5	(6)

■救急・・・救急件数は減少 1日に約13.4件出動

出動件数は4,917件（前年より654件減）で、1日平均約13.4件の出動となっています。事故種別は、急病が3,222件で全体の66%を占め、以下一般負傷892件、交通事故314件の順となっています。搬送人数は4,273人（同550人減）で、傷病程度別では中等症が2,085人と全体の49%を占め、以下軽症2,016人、重症93人、死亡78人、その他1人となっています。※その他とは、医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

■救助・・・施錠された住宅内からの高齢者の救出が増加

出動件数は63件で前年より2件の減少、救助人数は33人で同4人の減少となっています。事故種別でみると、施錠された住宅内からの高齢者の救出等の分類となる建物等による事故が40件（前年33件）で最も多く、次いで工作物による挟まれや山岳救助等の分類となるその他の事故が11件（同14件）、交通事故9件（同11件）、火災2件（同3件）、機械による事故1件（同1件）となっています。